※令和３年度以前入学生用

学校番号	328

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「生物基礎」改訂版（啓林館）						
副教材等	・四訂版　リードライトノート（数研出版） ・三訂版 フォトサイエンス生物図録（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我々は身の回りの自然に触れつつ、授業においては見通しをたてて観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育むことが重要である。「細胞」、「遺伝子」、「恒常性」「生態系」という４つの視点で何が見えてくるのかに着目し、「生物」を学びながら、未来に向けて我々がするべき事柄を見いだすことも重要である。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方ら考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テストの点数 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テストの点数 観察･実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の多様性と生態系	多様な植生と遷移	○				a: 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。 b:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 c:生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:「生態系のバランス」に関する探究活動として水生植物および渡り鳥など身近な野鳥の観察を行うなかで、自然に対する造詣を深める。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート・小テスト 観察・実験 定期考査
		気候とバイオーム		○				
		生態系の成り立ち			○			
		生態系のバランスと保全				○		
2学期	生殖と発生	有性生殖と無性生殖 染色体と遺伝子 減数分裂	○		○		a , c:有性生殖と無性生殖の違いについて、例をあげて説明できる。有性生殖が環境の変化に対して有利なことを理解する。 減数分裂の過程についてムラサキツユクサのおしべを材料として実験観察を行う。 b, d: 完全連鎖と不完全連鎖の違い、および組換えの中身を理解している。 また、メンデル遺伝に一見従っていないように見えるものについて、その内容を理解している。染色体地図の意味を理解している。	学習状況 ノート・ワークシート・小テスト 定期考査
		遺伝子の多様な組み合わせ 連鎖と組換え				○		
		いろいろな遺伝 (中間雑種、致死遺伝、補足遺伝、抑制遺伝、血液型の遺伝、伴性遺伝、染色体地図)		○		○		
3学期	演習	生物基礎の演習／実験	○	○	○	○	a:主体的に演習に取り組もうとしている b:科学的に考察して、導き出した考えを適切に表現している。 C:演習、観察、実験における基本操作を習得し、記録・整理ができる。科学的に探究する技能を身に付けている。 d:生物基礎の知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。